

特別セミナー概要

これからの“公共空間のあり方”に対する2つの視点



日時	2015年2月20日（金）15：30～17：30
会場	六本木ヒルズ森タワー10階会議室
講演者	靱山真人氏（株式会社リライト代表取締役） 藤村龍至氏（藤村龍至建築設計事務所代表）

森記念財団都市戦略研究所では、様々な側面から都市づくりに携わってこられている建築家・実務家として上記2名の方々を講師としてお招きし、特別研究会を開催した。靱山氏は『商業施設向けソリューション開発を通じた“新しい公共”へのアプローチ』というテーマで、民間の商業施設をクライアントとしたプロジェクトを中心に、街との関わりなどの実績をもとにしたタウンマネジメントについて講演された。靱山氏は『未来のパブリック・スペースを担うのは商業施設である』という仮説の下、商業施設と地域の橋渡しとしての役割を担っていきたい。」と述べられました。また、藤村氏は、『公共セクターから考えるソーシャルデザイン：前向きな街の畳み方』と題して、複数の自治体で建築都市計画行政に関わられてきた経験から、施設マネジメントの観点でインフ

ラの段階的な縮小を計るプロジェクトを例に、コンパクトまちづくりや市民協働を実現するためのワークショップや情報発信の方法論などについて講演されました。藤村氏は「多機能化しながら縮小化を図ることをポジティブに捉えられるようにしていきたい。」と述べられました。

質疑応答では、「2020年オリンピックをどう捉えているか?」、「情報化の発達がリアルな商業空間にどのように影響するか?」、「アカデミズムの現代的な役割は?」、「大都市や大企業のプロジェクトとは別に地方都市で仕掛ける場合の財源については?」など多岐に渡る質問が出され、活発な意見交換が行われた。